



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

福祉部		法人名	鉛苟合同会社	代表者	長堂 和男	法人・事業所の特徴	住宅地の民家をリフォームした小さな事業所であり、近所の方も訪れやすい環境である。事業所は自治会の開催するイベントに積極的に参加・協力している。事業所内の厨房で一人一人の要望や嗜む力に合わせた食事を提供している。季節の行事や昔ながらの風習を、事業所イベントとして取り組み、楽しく過ごしている			
事業所名	小規模多機能ホーム安岡	管理者	園田 美紀							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人(後日確認)	1人(後日確認)	1人	0人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事業所自己評価の9つの「次回までの具体的な改善計画」及び、地域かかわりシートの「改善計画」を事業所内に掲示し、職員が意識できるようにする。	職員が意識できるように事業所内に掲示したが、職員の意見では、「改善計画について意識する事はなかった。」との事で、意識する工夫が必要。	・全職員で事業所自己評価がなされていることが判った。 ・貼り出した目標を職員が意識しているか判らない。	・事業所自己評価と地域かかわりシートの全項目を掲示するのではなく、特に、職員に意識して欲しい項目にしぼって「改善計画」を掲示し、業務日誌などで、振り返るきっかけをつくる。
B. 事業所のしつらえ・環境	・以前、定期的に開催していた認知症カフェを事業所内にて再開し、月に一回程度、認知症カフェのコーヒーの香りで癒しの空間を演出する。	ウクレレ演奏ボランティアの協力もあり、月に1回、定例的にカフェの雰囲気をつくることはできた。地域の方への声かけはしていないが、今年度、検討してみたい。	・ボランティアが定期的に事業所を訪れているのがホーム安岡通信で判った。 ・自動販売機の設置は、地域の方にとってもメリットがある。	・事業所の庭に植えたパッションフルーツや、職員が育てているバナナが豊作で、利用者様や職員が食べたが、今年度はご近所様にもおすそわけして、フルーツを通じたご近所づきあいをしたい。
C. 事業所と地域のかかわり	・日頃から地域の方とあいさつを交わし、世間話しから得られた情報を事業所内の業務日誌に記載して、情報共有し、必要があれば、地域包括支援センターとの情報交換にも役立てる。	業務日誌に記載する事はできなかったが、地域の方への挨拶はできているし、今後も継続したい。	・職員は、自治会のバーベキュー大会にも参加しており地域に知られていると思う。ホーム安岡通信で地域の方に情報発信をしていると思う。	・地域の方へホーム安岡を知ってもらうために、地域包括安謝さんにホーム安岡のチラシを置いて頂くなど、地域に知つてもらう機会を増やす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域の民生委員・児童委員の方だけではなく、利用者様の自宅がある地域毎の民生委員さんのお名前を把握して、情報交換する。	利用者様ご自宅周辺の民生委員さんを調べることはできなかったが、那覇第一民児協の方が、3ヶ月に一度程、ホームに来所し、研修会などの情報を提供してくれている。	・利用者以外の方に、かかわっていますかの質問に「わからない」としましたが、今日、豆腐屋さんのおじいちゃんの話しを聞いて「はい」にします。	・利用者様毎に地域を担当している民生委員さんのお名前を把握して、交流を図る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・地域の心配な方だけではなく、健康な方でも、あいさつできた回数や情報を地域包括支援センターに提供して、必要があれば、事例検討につなげたい。	地域包括安謝さんの全職員が今年度、変わったこともあり、前半は充分な情報交換が出来なかったが、研修会情報などを頂くなど、情報交換できつつある。	・Y商店のYさんはいつも道路に出てくれているので、挨拶しています。 ・運営推進会議に民生委員さんが参加されており素晴らしいと思います。	・運営推進会議では、地域のお祭りやイベント、地域包括安謝さんの研修会情報なども情報発信し、地域の情報交換の場としたい。
F. 事業所の防災・災害対策	・事業所は浸水危険地域となっており、台風接近時に危険を伴うが、警報によつては、通常通りの営業をする事も多く、利用者様は、通いサービスの中止等を判断できるように情報提供する。	台風接近時の利用中止のお願いなどは随時、行っていたが、事業所の水害リスクを事前にお伝えすることはできなかつた。	・防災訓練に参加することで、様々な気づきがありましたので訓練は必須。 ・事業所よりご自宅が安全な場合もあるので、ご家族が判断できるようにしたほうが良い。	・今年度できなかつた事業所の水害リスクを利用者様やご家族にお知らせし、台風接近時などは、ご家族の判断で、利用を中止したり、早めの帰宅を検討したりできるように事前の情報を提供する。

O

O